

# 新しい神埼市長と市議会議員24人が決定!

## 【市長選挙】

(得票数順、敬称略)

結果	候補者名	所属	得票数
当	松本 茂幸	無所属	10,280 票
	狩野 常德	無所属	10,043 票

## 【市議会議員選挙】

(得票数順、敬称略)

結果	候補者名	所属	得票数
当	野副 芳昭	無所属	1,238 票
当	廣瀧 恒明	無所属	1,186 票
当	松本 軍二	無所属	1,090 票
当	永沼 彰	無所属	1,045 票
当	内村 夏生	無所属	1,011 票
当	山口 義文	無所属	1,004 票
当	野口 英樹	無所属	907 票
当	福田 清道	日本共産党	814 票
当	古川 裕紀	無所属	753 票
当	内田 良治	無所属	749 票
当	山田 一明	無所属	746 票
当	木原 憲治	無所属	721 票
当	原 信義	日本共産党	720 票
当	片江 護	無所属	712 票
当	佐藤 知美	日本共産党	695 票
当	白石 昌利	無所属	671 票
当	宮島 清	無所属	604 票
当	實松 博記	民主党	603 票
当	田原 和幸	無所属	595 票
当	籾原 忍	無所属	589 票
当	宮地 明	無所属	577 票
当	中野 均	無所属	575 票
当	原口 ひさよ	無所属	550 票
当	古賀 安行	無所属	548 票
	藤瀬 光正	無所属	546 票
	西原 正剛	無所属	521 票
	田中 敬典	無所属	511 票

任期満了に伴う神埼市長選挙と今回初めて選挙区が統一された神埼市議会議員選挙が4月18日に執行されました。  
立候補したのは、市長選挙に2人、市議会議員選挙に27人。1週間にわたる選挙戦が展開され、市長には、現職の松本茂幸氏が再選を果たしました。  
4月19日、神埼市役所で当選された市長と24人の市議会議員に対し、神埼市選挙管理委員会の梅野秀和委員長から当選証書が手渡されました。  
新しい市長と市議会議員の任期は、平成22年4月23日から4年間です。



### 【市長】

◆有権者数	26,763人
◆投票者数	20,596人
◆投票率	76.96%
・有効投票数	20,323票
・無効投票数	273票

### 【市議会議員】

◆有権者数	26,763人
◆投票者数	20,594人
◆投票率	76.95%
・有効投票数	20,281票
・無効投票数	313票

# 神崎市行政改革の取り組み状況をお知らせします

## 平成21年度は5億3,819万円の効果額(見込)

※効果額は、基準年対比となっていますので、18年度と比較しています。

市では、平成19年3月に策定した行財政改革大綱と改革プランに基づき、最小の経費で最大の効果を発揮するため、行財政改革に取り組んでいます。

改革プランでは行財政改革大綱の「市民感覚の視点」「行政の役割関与の見直しの視点」「民間感覚の視点」「全庁的な意識の共有化の視点」の4つの視点に基づき37の実施項目を設定し、年度当初に取り組み計画を立て、職員が一丸となって取り組んでいます。

その結果、平成21年度では、229件の事務事業の見直しを行い、累計で5億3,819万円の財政効果額を見込むことができました。

しかしながら、市の財政状況は依然厳しい状況にあるため、今後とも自主財源の確保、歳出の見直しなど更なる行財政改革に取り組んでいきますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

### ○収入の増加につながる財源の確保を図ったもの

・平成21年度は25件の見直しを行いました。主なものを紹介します。

(単位：千円)

実施項目	主な取り組み内容	効果額
遊休地の処分	遊休地15件の物件処分を検討し、2件の払下げを行いました。	6,751
有料広告等の確保	市報、市ホームページへの有料広告の掲載募集を積極的に行いました。	1,628
自主財源の確保	法人市民税の税率見直しを行いました。(法人税割税率 12.3%⇒14.7%)	28,854
	地方税法の改正により、寄附金の拡充という形で「ふるさと納税」が制度化されたことに伴い、市でも、自主財源の確保の意味から積極的に取り組みました。	103,175

### ○歳出の見直しで、支出削減を図ったもの

・平成21年度は119件の見直しを行いました。主なものを紹介します。


(単位：千円)

実施項目	主な取り組み内容	効果額
職員定員の見直し	平成19年度職員数276人を平成23年度で253人とする定員適正化計画を策定し、職員数の見直しを実施しています。(H22.4.1現在の職員数255人)	470,600
職員の給与制度等の見直し	特例条例を制定し、市長・副市長・教育長の給料を、平成19年7月からそれぞれ、月額5%・4%・3%減額。また、管理職手当の支給割合を平成19年7月から20%減額しました。	6,675
事務処理の簡素・効率化	各公共施設のメンテナンスに係る同一の業務内容である清掃業務・消防設備等保守点検業務・浄化槽保守点検業務・電気工作物保守点検業務について、可能なものを一括発注することで、競争力を高め、経費の節減を図りました。	1,181
市債の適正活用	公債費の縮減対策として、高利率の市債の繰上償還を、平成19年度から平成21年度までの3ヶ年間で実施しました。	11,999
事務・事業の整理合理化等	市長交際費の削減を実施しました。	359
	郵送料の削減を図るため、郵送文書と区長依頼文書の見直しを行いました。	2,095
	市税条例の一部改正を行い、前納報奨金の見直しを行いました。(H20…0.2%⇒H21…0.1%)	3,347
	市長、議長分の慶弔電報(レタックス)の見直しを行いました。	251
補助金等の整理統合	佐賀県関連の各種協議会の法令外負担金の縮減を図りました。	505

## ○歳入の確保、歳出の見直しにより効果を得た財源で、重点配分を行ったもの


・平成21年度は46件の見直しを行いました。主なものを紹介します。

(単位：千円)

実施項目	主な取り組み内容	効果額
公共施設の利便性の向上	本庁来訪者の利便性を向上するため次のような施設改善に取り組みました。 ・本庁舎と南新館をつなぐ渡り屋根の設置 ・本庁舎高齢障害課入口の自動ドア設置 ・窓口カウンターへのつえホルダー設置 ・本庁舎駐車場の拡大	9,385
事務・事業の整理合理化等 	妊婦健康診査の拡充に取り組みました。(5回→15回)	18,204
	不妊治療費助成事業に取り組みました。	2,000
	障害児保育推進事業を新たに取り組みました。 (H21公立6,666千円、私立1,363千円)	8,029
	小中学校の教育振興のため、障害児学習の充実を図るとともに、新学習指導要領に沿った教育振興に取り組みました。	18,590
	放課後児童クラブの充実に取り組みました。(土曜日も実施)	12,809
	市内統一した行政区案内板を設置しました。	15,200
	平成20年度図書館ネットワークシステムの導入により、図書館体制の充実を図り、併せて、神埼市立図書館を設置し、市民の利便性の向上に取り組みました。	3,365
補助金等の整理統合	CSO(市民社会組織)の自主活動の育成を推進するために、補助金の増額を行い、地域活性化の取り組みを支援しました。	2,534
	市民が太陽光発電システムを居住用住宅に設置された場合、20万円を限度とした補助を実施し、地球温暖化対策に取り組みました。	26,000

## ○将来にわたって効果が期待できるもの

・平成21年度は39件の見直しを行いました。主なものを紹介します。

実施項目	主な取り組み内容
人材育成制度の整備による職員の資質向上 	職員の資質向上を図るため、平成19年度に策定した人材育成基本方針に基づき、市民に信頼され、また地方分権時代に即した人材育成に努めました。 ・佐賀県実務研修として、市町村課へ1人を派遣 ・佐賀県市長会の階層別研修にその都度適任者を派遣 ・中央研修は自治大学に3人、市町村アカデミーに5人を派遣 ・研修修了者を職員全員の前で発表させる報告会を開催 ・4月にさわやかマナーかんざき実践強化月間を実施 ・人事評価制度アンケート調査を実施
パブリックコメントの実施	市民の声をまちづくりに反映するため、計画書等を作成するときは、市民参加、市民と協働による会議等を開催し、計画書等に対する市民の意見を求め、反映させました。 <b>【平成21年度パブリックコメント実施済】</b> 「神埼市環境基本条例」「神埼市地域福祉計画」「神埼市男女共同参画基本計画」「神埼市DV被害者支援基本計画」
職員の意欲の活性化	将来を担う若手職員を中心に、行動改革の一環として、産業振興、市民協働、組織人事に関するプロジェクト型研修を実施し、部課長を対象にしたプレゼンテーション、また、議員、地区役員の方々を対象に報告会を実施しました。
コミュニティ活力の活用	平成21年度から3ヶ年計画で「市内CSOネットワーク」の設立を図り、分野・団体の枠を超えたネットワーク(組織)を設立することで、情報提供や人材育成、組織育成を図っています。

◎問い合わせ先

神埼市役所 市長公室

☎37-0102